



合併問題地区懇談会を開催

合併問題は、町の存亡や将来にかかわる大きな問題です。この問題を住民の皆さんとともに考えていくため、1月27日から秋田、小幡、福島および新原地区で地区懇談会を開催しました。懇談会では、出席された皆さんからご質問や貴重なご意見、ご要望等をいただきましたので、整理、要約してお伝えします。

■背景と目的

合併議論が高まる中、住民の日常生活で感じつきが強い広域圏の構成市町村である戸巻町、富岡町、妙義町、下川町および南双村では、1月20日、富岡町長が広域圏合併協議会設立準備会（会長・寺井清二副富岡市長）を設置し、任地協議会設立に向けた協議を始めています。

この懇談会は、いよいよ現況やこれまでの合併問題の経過、富岡町長が広域圏および他近市町村との比較、町の財政状況等を報告し、現時点で、住民の皆さんの思っていること、感じていること、考えていることなどを直接お聞きするための地区別に開催したものです。

町からは町長、助役、収入役、教育長、議員、副議長および関係職員が出席しました。

■想定される選択肢

合併問題については、様々な懸念や考え方がありますが、懇談会では、現状で想定される選択肢として、①合併しない②近隣自治体との小さな合併③広域圏の合併④広域圏と維持・安中を含めた大々

な合併などについて議論されました。また、これらの選択肢を示し、住民の皆さんの意向を助う住民アンケート調査の実施などについてご意見をいただきました。